

平成19年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：斑点米カメムシ類（No. 1）

平成19年7月24日

鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

斑点米の原因となるカメムシ類が、水田周辺のイネ科雑草地などで平年並に多く発生しています。

今後、出穂期を迎え、カメムシ類の水田への侵入加害による斑点米被害の発生が懸念されますので、穂揃期から乳熟初期の適期防除を徹底してください。

2 発生状況

(1) 7月中旬(7月11日～7月19日)に行った巡回調査定点のすくい取り調査の結果、水田周辺のイネ科雑草地などでは、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソミドリカスミカメ類、トゲシラホシカメムシなどの発生がみられている。

捕虫網5往復10回振りすくい取りの平均成幼虫数は132.2頭(平年：平成10～18年143.9頭)で、平年並に多い発生であった(表1)。

(2) アカスジカスミカメは県下全域で発生がみられ、特にイタリアンライグラス、メヒシバが優占する雑草地・休耕田等で発生が多い。また、ヒエ、エノコログサが優占する雑草地・休耕田等において、クモヘリカメムシが高密度に発生している地点が散見される。

3 防除上注意すべき事項

(1) 雑草地・畦畔などのイネ科雑草はカメムシ類の増殖源となるので適正な管理を行う。

ア ひとめばね、コシヒカリ等7月下旬～8月上旬に出穂期を迎えるほ場

出穂20日前頃に草刈りを行ったほ場では、再生したイネ科雑草が穂をつける前(水稻の出穂期頃)に再度草刈りを行うと、カメムシの密度がさらに低下する。

イ 日本晴、おまちかね等8月中旬頃に出穂期を迎えるほ場

出穂20日前頃に1回目の草刈りを行い、その後、再生したイネ科雑草が穂をつける前に再度草刈りを行うとカメムシ類の密度がさらに低下する。

(2) 7月下旬～8月上旬に出穂期を迎える地域で、出穂20日前頃に水田周辺のイネ科雑草地・畦畔などの草刈りを行っていない場合は、穂揃い期から乳熟初期に草刈りを行い、草刈り後直ちに防除する。

(3) 水田内で穂をつけたヒエ類は、カメムシ類の発生を助長するので直ちに取り除く。

(4) アカスジカスミカメは登熟初期の加害が中心であるが、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシなどは加害期間が長いので、登熟後期まで発生動向に注意する。

(5) 薬剤防除は穂揃期から乳熟初期に行い、その後も発生が多い場合は7～10日間隔で1～2回の追加防除を行う。防除は地域一斉で行うと効果が高い。なお、出穂前の防除は効果が期待できない。

(6) 使用薬剤については防除指針等を参考にし、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。

なお、穂揃期に殺虫殺菌混合剤を使用する場合は、いもち病防除についても考慮して薬剤選択を行う。

表1 水田周辺のイネ科雑草地などによる調査結果（7月中旬）

年 (地点数)	項目	種 類									合計
		アカシ	ホミドリ	ホハリ	トゲシ	シホシ	クモリ	ムギ	クオシ	その他	
H19 (65)	平均成幼虫数(頭)	114.2	1.7	3.4	0.2	0.3	4.4	3.5	2.9	1.6	132.2
	発生地点率(%)	96.2%	23.8%	43.1%	6.2%	6.9%	22.3%	25.4%	8.5%	32.3%	
平年 (H10~H18)	平均成幼虫数(頭)	115.0	7.6	2.9	0.5	0.3	6.9	6.8	2.4	1.5	143.9
	発生地点率(%)	95.2%	52.3%	65.9%	28.0%	17.5%	37.2%	31.9%	16.2%	40.2%	

注) 成幼虫数は捕虫網5往復10回振りすくい取りの数値。

アカシはアカシカミカ、ホミドリはホミドリカミカ類、ホハリはホハリカミシ、トゲシはトゲシカミシ、シホシはシホシカミシ、クモリはクモリカミシ、ムギはムギカミカ、クオシはクオシホナガカミシ。

表2 (参考)イネ科雑草地における年次別発生状況（7月中旬、H10~H18）

年	種 類									合計	備 考
	アカシ	ホミドリ	ホハリ	トゲシ	シホシ	クモリ	ムギ	クオシ	その他		
H10年	128.8	13.7	2.7	0.6	0.3	2.2	25.1	0.3	3.0	176.7	
H11年	76.8	4.6	1.5	0.4	0.2	4.8	1.7	3.8	1.1	94.8	注意報発令年
H12年	115.6	3.5	5.6	0.5	0.4	28.3	5.1	10.0	2.5	171.5	注意報発令年
H13年	166.2	18.0	4.5	0.3	0.4	11.0	13.0	3.0	1.7	218.1	注意報発令年
H14年	127.7	8.1	2.7	0.4	0.7	5.7	7.6	1.7	0.9	155.5	注意報発令年
H15年	60.4	3.7	1.0	0.3	0.0	0.5	1.4	1.2	0.4	68.9	
H16年	72.0	14.3	2.0	0.7	0.1	0.4	2.0	0	0.6	92.0	
H17年	136.9	2.9	3.7	0.7	0.5	5.7	0.0	2.2	1.6	154.2	注意報発令年
H18年	125.4	2.0	3.2	0.5	0.2	2.8	1.0	0.6	1.5	137.2	

注) 数字は捕虫網5往復10回振りすくい取り平均成幼虫数。